

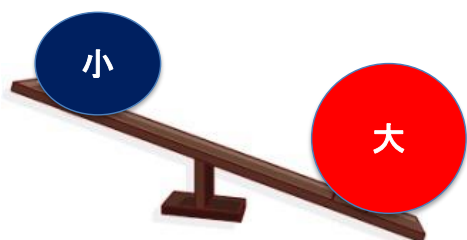
令和6年度 大規模地震時医療活動訓練

東京都

東京都における訓練想定

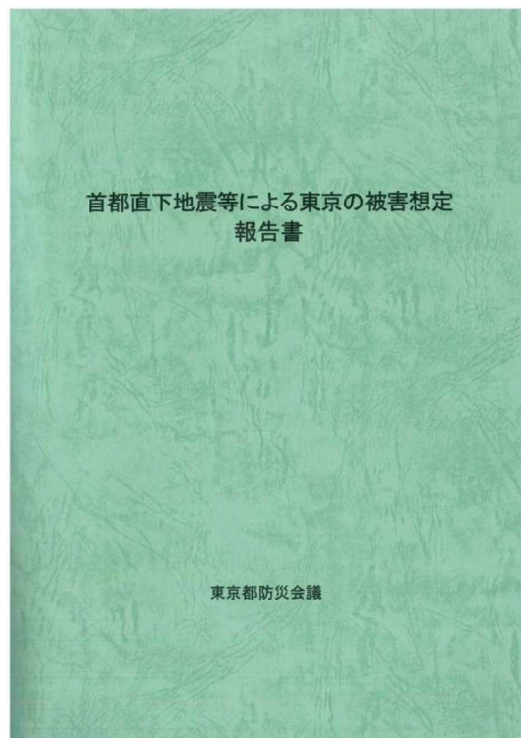
都心南部直下型地震(M7.3)が発生し、
区部が主に被災(被害大)

西(市部)



東(区部)

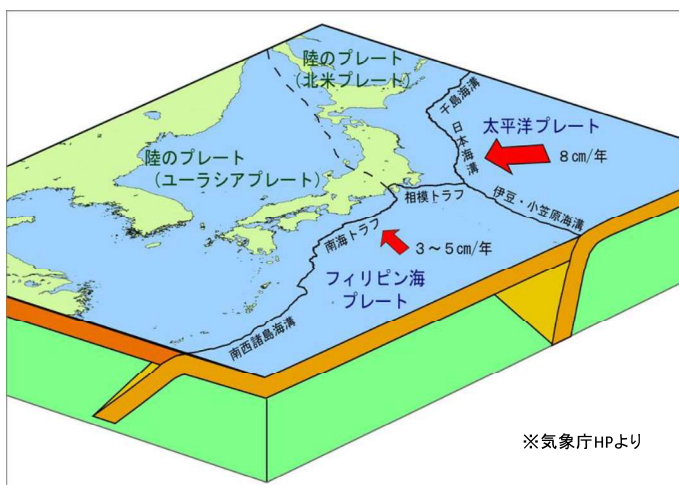
首都直下地震等による東京の被害想定



- 東京都防災会議が、令和4年5月に新たな被害想定を公表
- 東京都防災会議のもとに地震部会を設置し、被害想定を見直し
- 様々な変化や最新の科学的知見を踏まえ、首都直下地震等発生時の被害の全体像を明確化し作成

東京都の新たな被害想定について～令和4年5月～

- 東京の地下は、様々なプレートが沈み込む複雑な構造
- 新たな被害想定では、中央防災会議における見解や発生確率等を踏まえ想定地震を設定
- 平成24年度に想定した東京湾北部地震による被害に比べ、建物の耐震化や不燃化の進展等により、被害想定は軽減



M7クラスの首都直下地震

- ✓ 都心南部直下地震(M7.3)
- ✓ 多摩東部直下地震(M7.3)
- ✓ 都心東部直下地震(M7.3)
- ✓ 都心西部直下地震(M7.3)
- ✓ 多摩西部直下地震(M7.3)

発生確率: 約70%
(上記5地震など、南関東地域で発生するM7クラスの地震の派生確率)

- ✓ 立川断層帯地震(M7.4)

発生確率: 0.5~2%

M8~9クラスの高溝型地震

- ✓ 大正関東地震(M8クラス)

発生確率: 0~6%

- ✓ 南海トラフ巨大地震(M9クラス)

M8~9クラスの発生確率: 70~80%

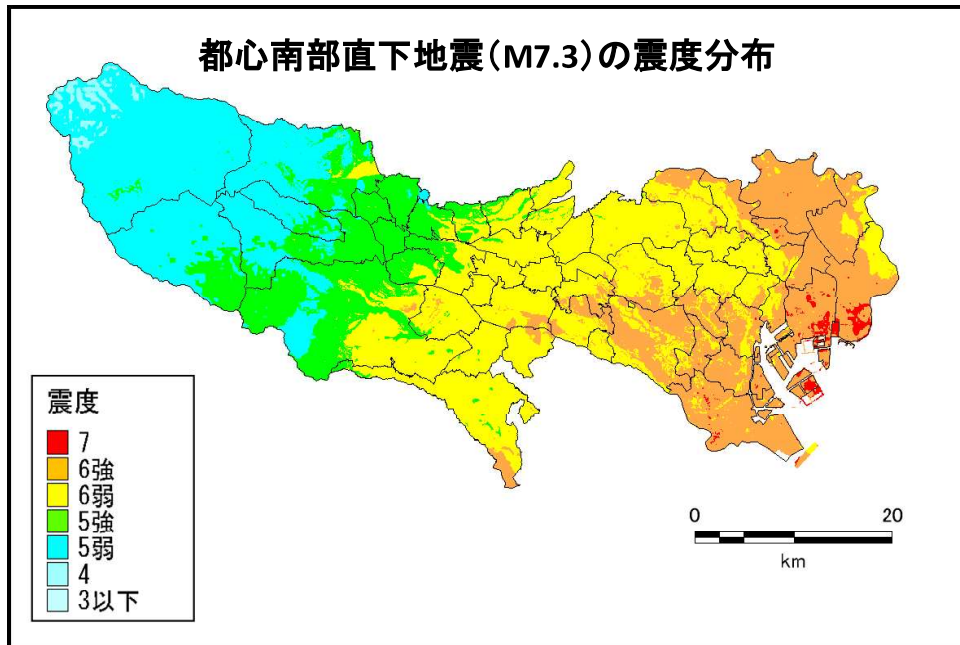
各地震について被害を想定し、防災対策に活用

- 直下型地震: 総合的な防災対策
- 高溝型地震: 津波対策

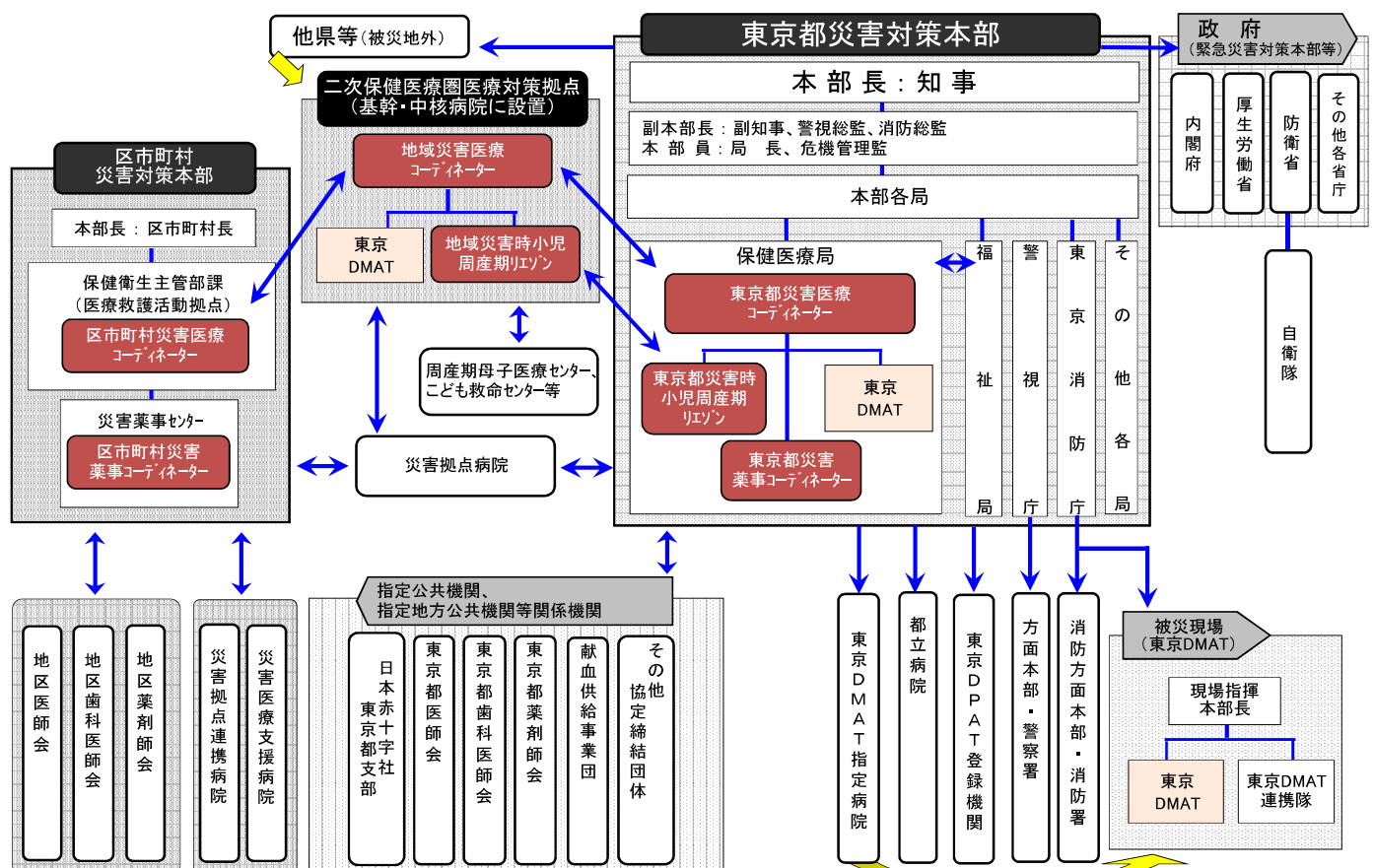
※赤字は被害量を算出

都心南部直下地震の被害の特徴 ～冬の夕方が発生した場合～

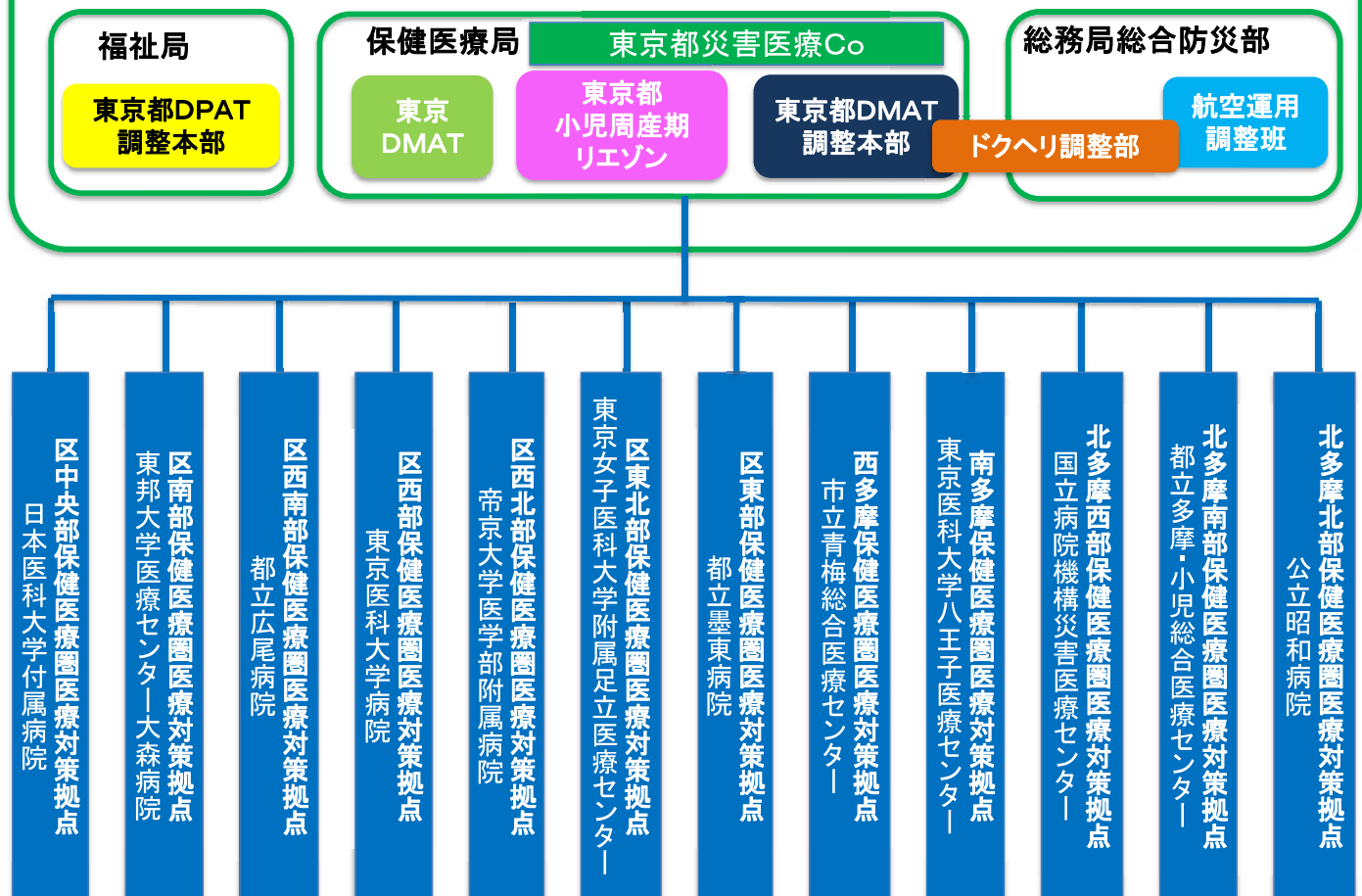
- 都内で最大規模の被害が想定
- 23区の約6割の範囲が震度6強以上になると想定
- 建物被害は約19万4,400棟と想定
- 死者は約6,100人と想定



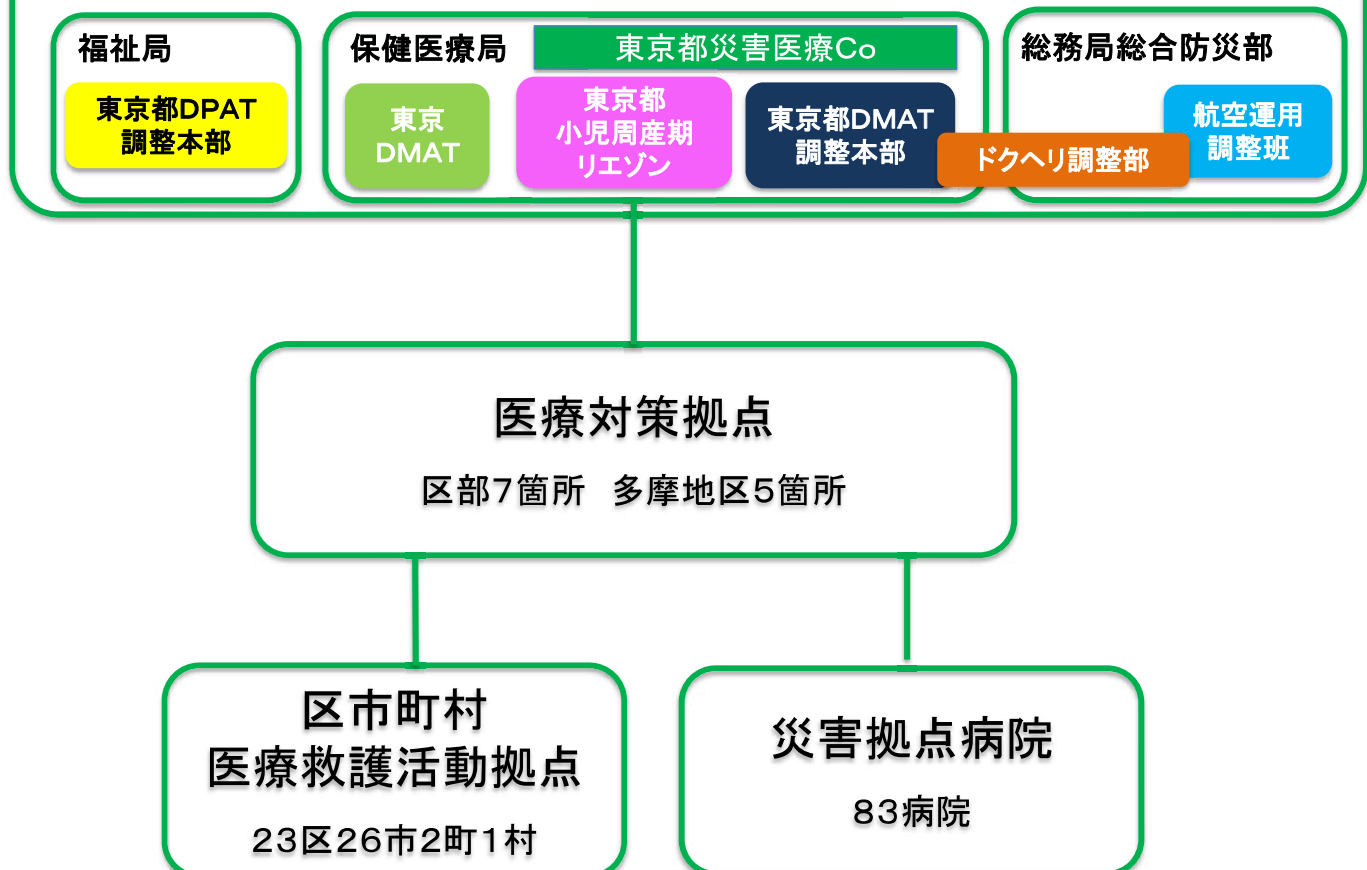
東京都の災害医療体制

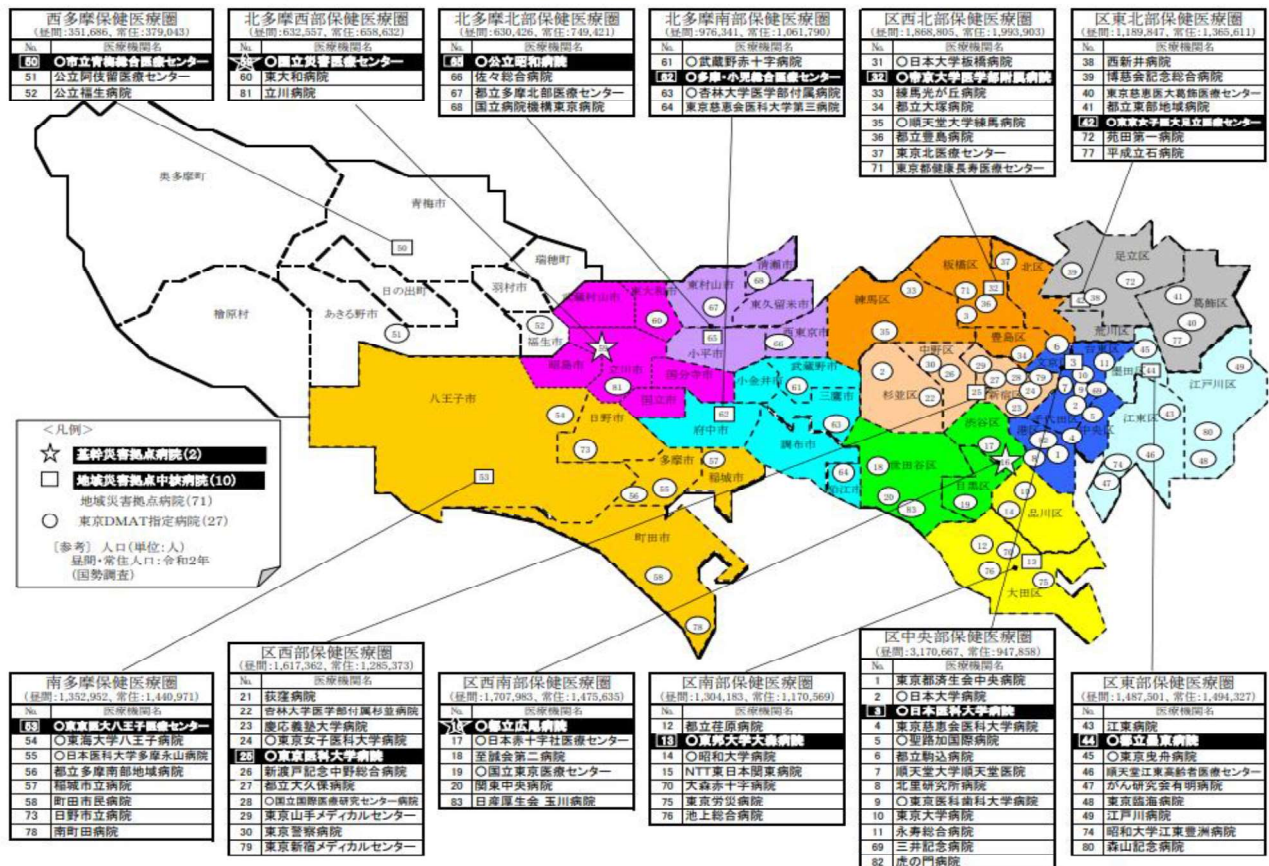


東京都災害対策本部



東京都災害対策本部





訓練概要

主要テーマ:「受援力の向上」

＜重点訓練項目＞

- 保健医療福祉調整本部の設置・運営
- 二次保健医療圏医療対策拠点におけるDMAT受入・活動調整
- 東京都内EMIS登録全病院を対象としたEMIS入力訓練

【医療機関の訓練参加状況】

- ① 医療対策拠点設置病院12病院全てで拠点を立ち上げ・運営
- ② 上記①に加え、27病院で日本DMATを実際に受入れ
(災害拠点病院・災害拠点連携病院・災害医療支援病院)
- ③ 上記①②の病院含め全病院を対象にEMIS入力訓練を実施
(約640病院)

訓練項目(概要・日付別)

9月27日

- EMIS入力訓練
(都内病院／被害想定に基づき状況入力)
- 東京都保健医療福祉調整本部立ち上げ
(本部レイアウト作成・通信確保 等)
- 医療対策拠点立ち上げ
(本部レイアウト作成・通信確保 等)
- EMIS入力訓練
(DMAT隊／出動DMAT登録・活動状況入力)
- 日本DMAT受入れ、DMAT調整本部
立ち上げ
(レイアウト作成、オリエンテーション 等)
- 日本DMAT受入れ、DMAT活動拠点
本部立ち上げ
(レイアウト作成、オリエンテーション 等)
- 都庁・医療対策拠点調整会議(Web)
(各医療圏へのDMAT配分調整・各医療圏の
活動方針伝達)

9月28日

- DMAT参集拠点の設置
(各サービスエリア・羽田)
- 都庁・医療対策拠点調整会議(Web)
(各医療圏の活動方針・対応状況等確認)
- 医療対策拠点運営
(EMIS等による医療ニーズ把握、DMAT受入対応、
医療チーム派遣調整、搬送等調整 等)
- 東京都保健医療福祉調整本部運営
(医療対策拠点からの要請に応じ各種調整、
DMAT受入対応 等)
- 他機関との連携
(JMAT、日赤、都看協、災害時透析医療NW 等)
- 病院支援(都内病院でのDMAT受入れ)
- 拠点病院図上訓練・通信訓練
(病院災害対策本部図上訓練、医療対策拠点
との連絡調整)
- 搬送訓練(区部から多摩への地域内搬送)
- ロジスティック訓練(ライフライン支援等)
- 社会福祉施設支援の調整

訓練内容①: 都本部(保健医療福祉調整本部)の設置・運営

訓練項目(案)

- 都本部(保健医療福祉調整本部)の立ち上げ ※本部レイアウト・通信確保 等
- 関係機関との連携、調整本部会議の実施
- 【参加予定機関】
都災害医療コーディネーター、都小児周産期リエゾン、東京DMAT、日本DMAT、
日赤災害医療コーディネートチーム、JMAT、都立病院機構、都看護協会、DPAT、
都災害薬事コーディネーター、災害時透析医療ネットワーク、DHEAT、都庁関係部署
- 日本DMATの受入れ・オリエンテーション、DMAT調整本部の立ち上げ
- 都災害医療コーディネーター、東京DMAT、日本DMATの連携
- 都災害医療コーディネーターによる都への助言
- 医療対策拠点との連携
- DMAT参集拠点から各活動拠点本部への、DMAT割り振り比率の決定
- 都内の被害状況把握、DHCoS結果を用いた方針立案
- 各種ロジスティック訓練 など

訓練内容②: 医療対策拠点の設置・運営

訓練項目(案)

- 医療対策拠点の立ち上げ ※本部レイアウト・通信確保 等
- 日本DMATの受入れ、DMAT活動拠点本部の立ち上げ
- 都本部との連携
- 医療対策拠点とDMAT活動拠点の連携
- 地域災害医療コーディネーター、東京DMAT、日本DMATの連携
- 参集DMATへのオリエンテーション・役割付与
- 医療圏内の被害状況把握、DHCoS結果を用いた方針立案
- 他医療圏との連携
- 地域小児周産期リエゾン、DPAT等との連携
- 搬送調整
- 各種ロジスティック訓練 など

訓練内容③: 医療機関での対応

訓練項目(案)

- 病院災害対策本部の立ち上げ ※本部レイアウト・通信確保 等
- EMIS入力
- 日本DMATの受入れ、オリエンテーション
- 医療対策拠点、医療救護活動拠点との連携
- 病院で定めたBCPの検証
- 転院調整
- 各種ロジスティック訓練 など

訓練内容④: ロジスティック訓練

訓練項目(案)

- 医薬品、医療ガスの確保(医薬品卸団体、日本産業・医療ガス協会)
- 医療資機材の確保(日本衛生材料工業連合会、日本医療機器協会)
- ライフラインの確保(東電タウンプランニング株式会社、都庁内関係部署)
- 通信手段の確保(医療対策拠点へスターリンクを配備)



訓練内容⑤: 航空機を活用した地域医療搬送

東京都災害対策本部

福祉局

東京都DPAT
調整本部

保健医療局

東京
DMAT

東京都災害医療Co

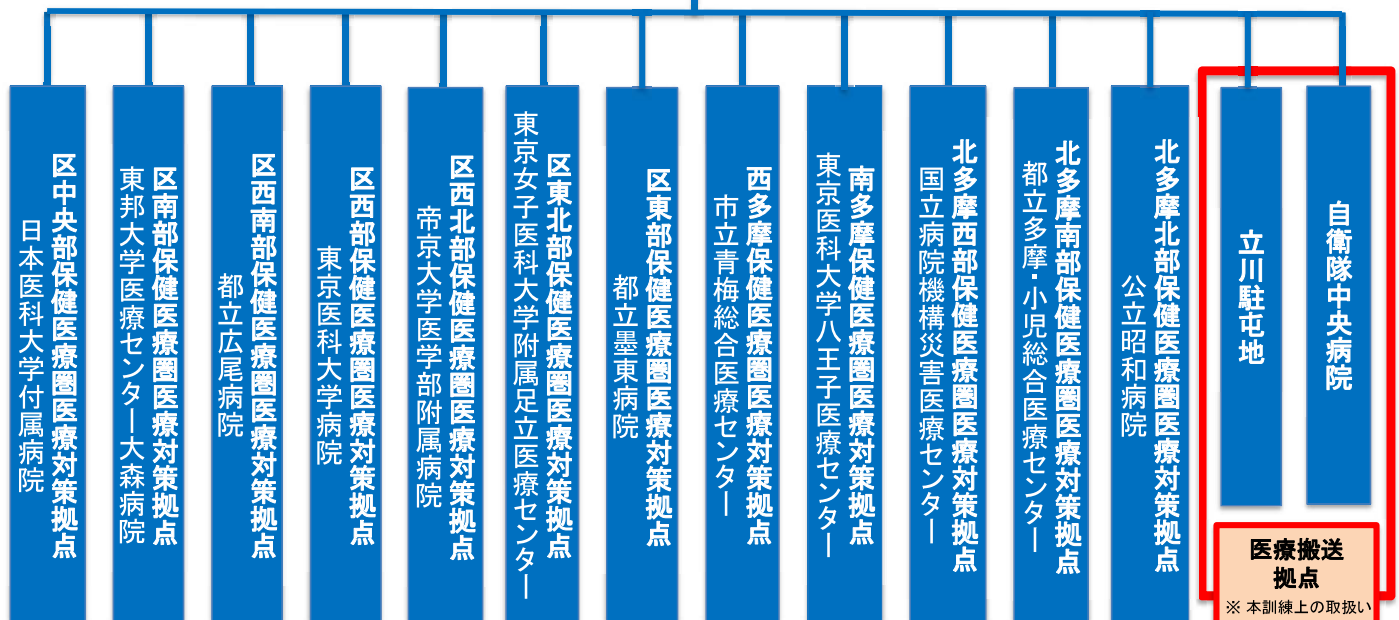
東京都
小児周産期
リエゾン

東京都DMAT
調整本部

ドクヘリ調整部

総務局総合防災部

航空運用
調整班



訓練内容⑤: 航空機を活用した地域医療搬送

訓練項目(案)

- 区部から被害の少ない多摩地域への、自衛隊機(CH47大型ヘリ)による傷病者の大量搬送
- 東京消防庁ヘリによる区部への医療者派遣及び多摩地域への傷病者搬送
- 東京都ドクターヘリによる多摩地域への傷病者搬送

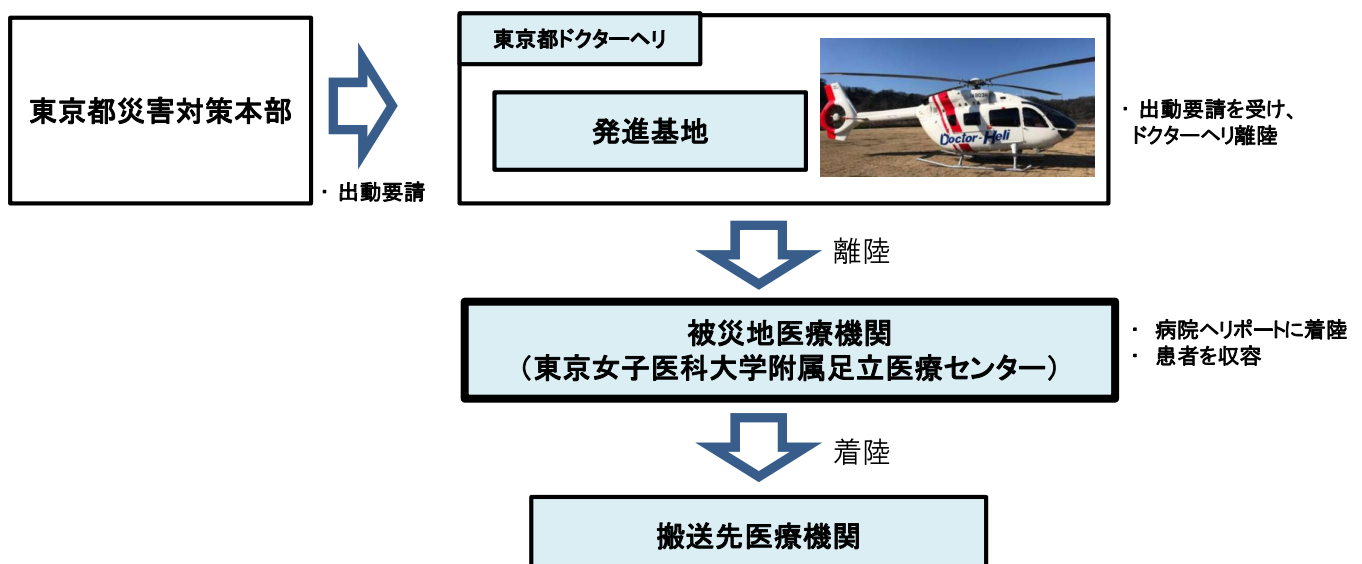


令和6年度大規模地震時医療活動訓練に係る地域医療搬送 ドクターヘリ訓練概要

1 訓練概要

東京都ドクターヘリ(実機)による地域内医療搬送訓練を実施する。
東京都災害対策本部から、東京都ドクターヘリに対して、出動要請を行う。出動要請に基づき、被災地医療機関から東京都ドクターヘリ搬送先医療機関までの搬送を行い、効果的なドクターヘリの活用を確認する。

2 訓練の流れ



※ 上記訓練のほか、DMAT調整本部に設置するドクヘリ調整部において、仮想の調整訓練を実施